

# 中州に集まる鳥たち

汽水池の中州は、カモの仲間を中心に、カワウやサギ類など、いろいろな水鳥が集まる場所です。手前のヨシ原にも注目して、水辺の鳥たちを観察してみましょう。

## Check Point

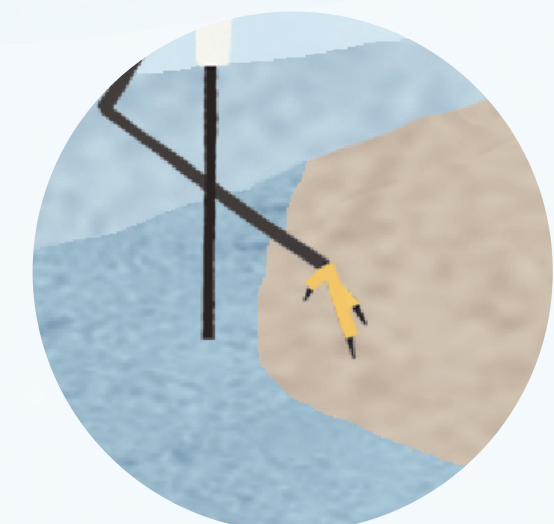
### サギのコロニー

サギの仲間は木の上にコロニー(集団繁殖地)をつくるよ。ツルの仲間と違って、木にとまれるのがサギの特徴だよ。



### サギの見分け方

見分けるポイントは繁殖期の飾り羽やクチバシの色。よく観察してサギを見分けてみよう。



足が黄色いコサギ。繁殖期の夏羽には頭に飾り羽がつくよ。



クチバシが他のサギよりちょっと短いチュウサギ。ダイサギとは、繁殖期に目のまわりの色がちがうよ。



アオサギと同じくらいの大きさのダイサギ。繁殖期には、目のまわりが緑色になるよ。



青っぽい灰色のサギはアオサギだよ。

### カイツブリの潜水

水に潜るのが得意なカイツブリ。どのくらいの時間潜っているか計ってみよう。



ゴイサギ 首をちめて木の上で魚をねらっています。夜行性で、昼間は眠っていることが多いです。

クイナ 水辺の草むらをかきながら歩く。長い足の指は沼地を歩くのに適しています。

ツグミ 地面を跳ね歩きながら、落ち葉をむくりにかえしてエサを探します。

チュウサギ 白いサギ類のうち中間の大きさです。コサギより少しはしは短め。

コサギ 白いサギのなかで一番小さく、カラスくらいの大きさ。黄色い足をしています。

ダイサギ 白いサギのなかで一番大きく、夏と冬でくちばしの色がかわります。

カイツブリ 潜水時間は約30秒。潜ったところと、まったく違うところからひょっこりあらわれる、潜水の名手。

バン 草のはえた水際を泳いだり歩いたりしてエサを探します。

アマサギ コサギより小さく、夏羽は頭から胸にかけて亜麻色になります。

カワウ 潜水をして魚を食べたあと、濡れた羽を乾かすために、杭の上で翼を広げて日光浴をします。

アオサギ 一年中みられる大型のサギの仲間。浅瀬でじっと立ってエサを狙っています。

ササゴイ 枝や石のうえなどで待ち伏せして魚をつかまえます。

観察小屋 C 鳥たちが多く集まる中州が一番近い小屋。すぐ近くに湧水を利用した淡水池もある。



オオタカ カラスくらいの大きさのタカの仲間。鳥やネズミを襲って食べます。

ノスリ 体の下面は、白っぽく黒い腹巻をしているように見える。ホバリングをする。

シメ 木や草の実を食べるのび、太く短いくちばしをしています。

※この風景は観察小屋Cを汽水池から見たものです

イラスト・デザイン：向田智也 Copyright(C)Tomoya Mukaida Yokohama Greenery Foundation. All right reserved.

## おねがい

- 動植物の持込、持出はしないでください。
- 火気は使用しないでください。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- 危険なことやほかの人に迷惑になることはやめましょう。
- バイクや自転車は所定の場所へ駐車してください。
- 園路のみ立入可能です。
- 大声で騒ぐのはやめましょう。
- 犬には必ずリードをつけましょう。

野鳥観察園 Bird-watching Garden  
指定管理者：公益財団法人横浜市緑の協会  
お問い合わせ：TEL:045-782-8004 (長浜公園)